

科目名	両立支援科学演習	
科目責任者	永田 昌子	(両立支援科学 准教授)
開講時期:	2年次	単位数: 4 単位 時間数: 90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>治療と仕事の両立支援を医療機関あるいは産業保健職の立場で捉え、その特徴を踏まえた対応や個別事例の特性に応じた配慮を症例分析を通して理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 個別事例発生時の医療機関での治療と仕事の両立支援の展開について議論できる。 2) 医療機関での治療と仕事の両立支援体制の構築と多職種連携による効果的な推進について議論できる。 3) 個別事例発生時の産業保健活動での治療と仕事の両立支援の展開について議論できる。 4) 治療と仕事の両立支援を強化した産業保健体制の構築と他施設連携による効果的な推進について議論できる。 5) 個別症例について疾患特性を考慮した医学的留意事項(安全配慮・合理的配慮)について議論できる。 6) 個別事例について事業場特性を考慮した職場環境調整や作業調整を含む適正配置について議論できる。 		
● 評価方法	演習参加状況50%、発表50%等で総合評価する。	
● 参考文献	事業場における治療と仕事の両立支援ガイドライン、企業・医療機関連携マニュアル(厚生労働省)、各疾患診療ガイドライン(各医学会)、シェアード・ディシジョンメイキング(日本医事新報社)、がんサバイバーシップ(医歯薬出版)	

● 授業内容

回	内容	担当教員
奇数回	主に事業場での治療と仕事の両立支援を強化した産業保健活動及び多施設連携について、学習課題を含む臨床症例による多職種カンファレンス、テーブルトップによる実践的研修を基本とする。	永田
偶数回	主に医療機関での治療と仕事の両立支援の展開及び多職種連携について、学習課題を含む臨床症例による多職種カンファレンス、テーブルトップによる実践的研修を基本とする。	永田